くみあいNEWS

WAKAYAMA WORKERS' UNION

第１５３００号
2022年10月31日(月)
発行責任者
日本製鉄和歌山労働組合
組織教宣部

組合ＨＰ：http://nssmwu.jp/　　代表内線番号　和歌山地区(本部)(54)－3590
堺地区　652990／海南地区(54)－5555

和歌山労組第10回定期大会を開催する

去る10月14日、日本製鉄和歌山労働組合第10回定期大会を代議員88名出席のもと開催しました。

津村、内匠屋両議長のスムーズな進行により大会は進められ、第1号議案「第53期後半年度活動方針に関する件（案)」に対しては、設備管理支部、中径製管支部より補強意見が出されました。第1号議案をはじめ、第2号議案「2023年度会計予算に関する件（案)」第3号議案「こくみん共済coop全員加入制度に関する件（案)」第4号議案「2023年和歌山市議会議員選挙の勝利に向けた特別決議（案)」の全てについて賛成絶対多数により可決・決定されました。



津村議長(左)
内匠屋議長(右)



日本製鉄労働組合連合会
副会長　平田　健吾氏



日本製鉄労働組合連合会
(和歌山労組特別執行委員)
本部執行委員　稲垣　利光氏



和歌山市議会議員
寒川　篤氏



和歌山県知事選挙候補予定者
岸本　周平氏

本大会に華をそえていただきましたご来賓の方々をご紹介します



和歌山市議会議員選挙組織内候補予定者
清末　ひろよし氏



こくみん共済 COOP 和歌山推進本部
事務局長　元木　幹雄氏



近畿労働金庫
和歌山支店長　小川　佳克氏



お忙しい中、村田きょうこさんにもWebにて
大会のご挨拶をいただきました。

第10回定期大会
組合長挨拶


山本組合長

大会代議員の皆様、ご安全に。

和歌山労組「第 10 回定期大会」へのご対応、大変お疲れ様でございます。

開会にあたり和歌山労組を代表してご挨拶を申し上げます。

まずもって組合員の皆様におかれましては、第 53 期前半年度における様々な活動に対し、多大なるご理解ならびご協力をいただきましたこと、労働組合を代表して心から感謝申し上げる次第です。

おかげさまで本部主催の行事、支部による主体的な取り組み、青年女性部の若さ溢れる各種イベントなど、コロナ禍による制約を堅持しながらも和歌山労組全体に元気を取り戻せたそのような 1 年であったと感じています。本定期大会も昨年に引き続き代議員数を縮減しておりますが、ほぼコロナ前のスタイルで開催することができました。

そうした中、本日は公私とも大変ご多用中にもかかわらずご来賓の皆様にご臨席を賜っております。

まず、我々の上部団体である日本製鉄労連の「平田副会長」、和歌山労組特別執行委員である日本製鉄労連の「稲垣本部執行委員」、和歌山労組組織内議員の「寒川篤和歌山市議会議員」、11 月の和歌山県知事選挙における当労組推薦候補予定者の「岸本周平」様、来年 4 月の和歌山市議会議員選挙における当労組組織内候補予定者の「清末ひろよし」様、こくみん共済 coop 和歌山推進本部の「元木事務局長」、近畿ろうきん和歌山支店の「小川支店長」、そして、我らがきょんきょん「村田きょうこ」参議院議員が Web でのご臨席、以上の皆様でございます。

なお、和歌山労組顧問である「池田こくみん共済 coop 和歌山推進本部長」におかれましては、ご出張によりご臨席は叶いませんでしたがご祝辞を賜っておりますことをご紹介させていただきます。

本定期大会に華を添えていただきましたご来賓の皆様に対し和歌山労組を代表して衷心よりお礼申し上げます。

さて、後半年度の活動方針については、後ほど審議事項としてお諮り致しますが 3 点に絞って申し上げたいと思います。

1 点目は、やはり「安全と健康の確保」が一丁目一番地であることは言うまでもありません。

和歌山地区では足もと休業災害が 4 件、不休災害が 12 件発生しており、到底看過できない危機的状況にあります。組合員はもとより、製鉄所で働くすべての仲間が「元気に出勤し元気に帰宅する」ための安全が揺らいでおり、労使・直協の垣根を越えて職場の本質的な災害リスクを徹底的に洗い出さなくてはなりません。

執行部による門前立哨、職場巡視、安全研修会や支部間交流などの取り組みに加え、職場労使委員会での安全に関する支部要望、執行部による安全健康室との意見交換など、多角的な視点で無災害職場を構築するべく労働組合の安全活動を実践して参ります。

2点目の経営諸施策への対応については、和歌山地区における品種別競争力強化の観点から、特に中径シームレスの最適生産体制の構築に向けて生産調整のシフトダウン、一部工程の休止、それらに伴う操業応援など、上期は厳しい施策に協力せざるを得ず、当該組合員の心労は計り知れないものでした。

しかしながら、ロシアのウクライナ侵攻に端を発した世界的エネルギー危機を背景に、シームレス鋼管の需要が一転して高まり当面は安定した生産が見込まれております。

こうした急激な情勢変化に対し労働組合として向き合うべき視点は、組合員の心情を汲みながら安全最優先で社の負託に応えるための環境を会社に求めていくことであり、執行部と支部の連携が一層重要になって参ります。

大事なことは当該職場のみならず、全組合員が持ち場･立場で業務に邁進していただきながらも、中径シームレスが安定して社会に貢献し続けるとの期待や意識を高めることが肝要であり、ひいては皆様の会社生活が豊かになるという好循環が生み出されることを申し上げておきます。

その上で日本の鉄鋼業はカーボンニュートラルへの挑戦が始まっており、「経済と環境の好循環」につなげるための産業政策として新たな領域へ進んでいかなくてはなりません。日本製鉄㈱関西製鉄所和歌山地区の各室・工場、各職場で日々業務に従事されている組合員の皆様と密接に関係しており、関心を持つことが大事です。脱炭素社会における労働組合の重要性について、後半年度の研修会で取り扱って参りますので、その際は各支部のご協力をお願い致します。

3点目は政策実現活動についてです。

後ほどWebにてご挨拶を賜りますが、基幹労連として悲願の組織内議員を確立するべく先の第26回参議院議員選挙に他産別であるJAMとの共闘で臨んだ結果､125,340票を獲得し見事に「村田きょうこ」参議院議員を誕生させることができました。執行部と和歌山・堺・海南各地区の支部長が緊密な連携を図りながら全組合員との対話活動を丁寧に積み重ね､投票所で「村田きょうこ」の名前を書いていただいた行動に他なりません。和歌山労組の実績は基幹労連でもトップクラスです。本当にありがとうございました。

そしてこれからが本番、和歌山労組は村田議員のご活躍を組合員へタイムリーに紹介し、村田議員に和歌山労組からの期待や要望、そして信頼を寄せる。こうした繋がりを持ち続けることが組織内議員を有する価値であります。今後も「きょんきょん」を応援して参りましょう。

また、11月の和歌山県知事選挙において、これまで衆議院議員として我々が惜しみなく支援し連携してきた「岸本周平」氏が政治生命をかけて立候補されます。和歌山県のトップリーダーとして最も相応しいとの判断から和歌山労組は推薦させていただきました。

さらに、来年4月の和歌山市議会議員選挙において、元執行部の「清末ひろよし」氏が初陣として立候補を表明してくれました。組織内議員の使命を背負う決断をしてくれた寒川議員の後継者です。和歌山労組の推薦候補者お二人に対し、力の限り支援することをこの場をお借りしてお誓い致します。

他にも後半年度の課題として、個別年度であるAP23春季取り組みにおいては、基幹労連和歌山県本部構成組合の労使交渉に対し、和歌山労組を代表して経営申し入れを計画しており、仲間の労働諸条件向上に努めて参ります。

一方、生活総点検活動を通じての職場環境改善、ワーク・ライフ・バランスの観点による働き方改革、男女共同参画の更なる推進、青年女性部の活力発揮など、職場に直結した重要課題についても労使の連携を図りながら進めて参ります。

ところで遅ればせながら、わたくしは連合和歌山人事の関係で６月６日の臨時大会において非専従ではありますが会長を拝命し、多くの仲間に助けていただきながら連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて日々精進しているところです。現場に足を運ぶ機会が減ってしまいましたが執行部および支部長にフォローいただいておりますこと感謝しておりますし、組合員の皆様にもご理解いただきたく存じます。とにかく組合員を代表して与えられた役割・責任を果たして参ります。

結びとして、和歌山労組第 53 期後半年度も和歌山・堺・海南それぞれの地区において安全環境防災を最優先に日々ご尽力いただくとともに、引き続きコロナ禍における組合活動に対する絶大なるご理解とご協力を賜ります様、心からお願い申し上げ、第 10 回定期大会開会にあたっての挨拶に代えさせていただきます。

共に頑張りましょう。　　ご安全に。

第１号議案「第53期活動方針に関する件（案）」に対する補強意見および執行部答弁（要旨）

雇用基盤の確立に向けた経営対策の強化



中径製管支部
佐々木代議員

シームレス鋼管の需要低迷により、シフトダウンならびに他工場・他地区への操業応援を経験し、この厳しい施策になんとか歯を食いしばって耐え忍んできました。現在油井管・ラインパイプの需要が回復基調にありますが、私たちは決して安心しておらず、イレギュラーな操業・業務、そして応援に日夜懸命に汗水を流しながら、不安を常に抱いていた日々は忘れることができません。我々としては、いつかまたこのような事態に陥るのではないかと、今もまだ不安は払拭できていないのが現状です。

そのような中、現在最も重要なのが、求められている製品を、求められている時に、確かな品質で遅延なく生産することです。しかし、この「安定生産」を果たすには、作り手である現場第一線作業者のモチベーションが必要不可欠です。支部といたしましてもこれまで以上に対話活動を行っていきますが、執行部におかれましても、現場作業者のモチベーションの向上を図るべく、これまで以上の対話活動をお願いします。

産業政策・政策制度、生活諸課題の改善



設備管理支部
木下代議員

「岸本周平」氏が和歌山県知事として立候補を表明されており、これまで築いてきた太いパイプ役として引き続きご活躍いただけるよう、全組合員が一枚岩となって「岸本周平」氏を支援して行きたいと考えています。

また、「寒川篤」和歌山市議会議員の後任として、当設備管理支部から、「清末ひろよし」氏が立候補を表明し推薦をいただいております。来年４月の和歌山市議会議員選挙に向けて、精一杯の支援をして参りますので、皆様の厚いご支援並びに和歌山労組の全面的なバックアップをお願いします。

執行部答弁



黒島書記長

■ 雇用基盤の確立に向けた経営対策の強化

４月からのシフトダウンとそれに伴う人員措置、その半年後にはシフトアップへの対応と組合員とご家族の皆様には大変な思いをいただきました。本当に申し訳ない気持ちと感謝の気持ちで一杯であります。一方、中径製品工場においては応援が継続しており、その方々に対しては、執行部として支部との連携のもと、引き続きフォローしていきます。その上で、中径シームレス全体の取り組みとして、モチベーション向上と活力発揮に向けて、前広な情報共有とともに執行部としての対話活動にも取り組んでいきます。当面の間は、生産対応に追われることとなりますが、安全最優先のもと、安定操業・安定生産の継続に向けてもう一段の頑張りをお願いします。

■ 産業政策・政策制度、生活諸課題の改善

岸本周平氏においては、皆さんのご支援のもと圧倒的な大差で勝利した矢先での知事選出馬の表明とあって、戸惑いをもつ組合員さんがいることも承知しています。ただ、岸本氏が週末に実施している辻立ちを見たことがある人はわかると思いますが、国政で活躍されている中にあっても、常に和歌山のことを思い、和歌山のために活動をされてきた岸本氏の決断を和歌山労組としても尊重し、知事選においても推薦決定を行ったところです。

先日、事務所開きが行われ、山本組合長が連合会長の立場で挨拶を行いました。その際、連合和歌山として岸本氏を推薦決定した理由は一つ「岸本さんは和歌山を任せられる人物・人柄だから」と述べられました。これは皆さんも共通の認識だと考えます。知事選においてもこれまで以上にご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

一方、清末ひろよし氏に関する取り組みについては、和歌山労組一丸となって必勝に向けた活動を展開して参ります。そのポイントは、組合員全員が運動員として取り組むことです。和歌山市在住ではないから関係ないのではなく、和歌山労組の代表として市政に送りだすとの意識の醸成を図り、支援者の拡大をはじめ全員野球で何としても勝利をつかみ取っていくということです。

本日いただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、後半年度の具体的な取り組みを展開してまいります。様々な課題が山積していますが支部との綿密な連携のもと、全組合員とともに盤石な和歌山労組を構築すべく、積極果敢に挑戦していく決意です。

代議員の皆様には、絶大なるご支援とご協力を心からお願いし、執行部を代表しての答弁とさせていただきます。



組合員投稿コーナー

今回は「私の趣味」をテーマに投稿をいただきました!



ご安全に。製鋼整備支部の北村聡隆です。

私の趣味はDIYで、３年前に家を建てたころからコツコツと始めました。

最初に着手したのは庭づくりで、家を建てた時はただの土でしたが人工芝を敷き、ウッドデッキを設置し、砂場を製作することで理想の庭へと進化させていきました。

次に着手したのは、自分の部屋に使うデスクです。



初めは部屋にぴったり合うような市販品を探しましたが、理想通りの品が見つからなかったため、結局自分で作ることにしました。自分で作るより市販品を買ったほうが時間もかからず安く済むこともありますが、自分の思い描いた通りの物はDIYでしか作ることができません。

皆様もチャレンジしてみてはいかがでしょうか。

和歌山県知事選挙のお知らせ

任期満了に伴う和歌山県知事選挙は、2022 年 11 月 10 日(木)告示、同月 27 日(日)投開票の日程で行われます。棄権のないよう期日前投票を利用しましょう。



プロフィール

1956 年　和歌山市三番丁に生まれる
1969 年　和歌山市立広瀬小学校卒業
1972 年　和歌山市立城東中学校卒業
1975 年　和歌山県立桐蔭高等学校卒業
1980 年　東京大学法学部卒業
1980 年　大蔵省入省
2009 年　第 45 回衆議院選挙にて初当選
2012 年　第 46 回衆議院選挙に 2 期目当選
2014 年　第 47 回衆議院選挙に 3 期目当選
2017 年　第 48 回衆議院選挙に 4 期目当選
2021 年　第 49 回衆議院選挙に 5 期目当選

和歌山労組は『岸本 周平』氏を支援しています

【訂正とお詫び】 前号（15299）に記載している、Ｐ４の内容について一部誤りがありました。心よりお詫び申し上げ訂正いたします。正しくは以下の通りとなります。

誤）和歌山製品部協　中径製品支部　坂口中央委員
正）海南製品部協　　小径製品支部　中村中央委員